



2021年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月13日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス
 コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一

TEL 0898-23-2243

定時株主総会開催予定日 2021年5月28日

配当支払開始予定日

2021年5月31日

有価証券報告書提出予定日 2021年5月31日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期の連結業績(2020年3月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	8,453	1.7	200	23.2	330	19.3	146	107.7
2020年2月期	8,311		261		277		70	

(注) 包括利益 2021年2月期 152百万円 (127.3%) 2020年2月期 67百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	159.29		7.8	7.1	2.4
2020年2月期	76.68		3.8	6.3	3.1

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 百万円 2020年2月期 百万円

(注) 1. 2020年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年2月期の対前年増減率については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	4,992	1,932	38.4	2,101.97
2020年2月期	4,384	1,857	42.4	2,020.71

(参考) 自己資本 2021年2月期 百万円 2020年2月期 1,857百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	395	267	420	1,143
2020年2月期	520	168	397	596

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期		0.00		90.00	90.00	82	117.3	4.4
2021年2月期		0.00		90.00	90.00	82	56.5	4.4
2022年2月期(予想)		0.00		92.00	92.00		51.9	

直近に公表されている配当予想からの修正の有無 有

2021年2月期の期末配当予想につきましては、本日開示しております「配当予想修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,275	4.9	90	69.3	170	33.5	75	17.8	81.60
通期	8,778	3.8	217	8.0	358	8.2	163	11.3	177.30

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 1 社 (社名) MOTTAINAI WORLD (THAILAND)CO.,LTD 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年2月期	953,600 株	2020年2月期	953,600 株
期末自己株式数	34,310 株	2020年2月期	34,310 株
期中平均株式数	919,290 株	2020年2月期	919,330 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績(2020年3月1日～2021年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	7,867	4.0	258	20.9	388	39.5	220	261.9
2020年2月期	8,193	2.8	326	11.5	278	32.0	60	52.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期	240.14	
2020年2月期	66.35	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	4,814	2,010	41.8	2,187.00
2020年2月期	4,154	1,871	45.0	2,035.79

(参考) 自己資本 2021年2月期 2,010百万円 2020年2月期 1,871百万円

2. 2022年2月期の個別業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在にて判断したものであります。

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことによりMOTTAINAI WORLD(THAILAND) CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

当連結会計年度における国内経済は、2019年末から新型コロナウイルスによる实体经济への世界的な影響が出ており、今後につきましても先行き不透明な状況が続くと予想されています。

こうした状況のもとで、当社グループにおきましては手許現預金を厚くすること、フードサービス事業の再編成、リユース事業の生産性と在庫回転の向上に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、国内の出店のうちリユース事業は、ブックオフ1店舗、ハードオフ1店舗、ホビーオフ2店舗を新規に出店しております。フードサービス事業は、新たなブランドとして「旭川味噌ラーメンばんから陣原店」を出店しております。「ティア家族のテーブル」につきましては営業スタイルを変更し「ティア自然食堂」として移転オープンしております。また、新業態としてチョコレート専門店「ショコラトリーtsumugi」を開店しております。その他は、「ユートピア宇和・游の里」、「クアテルメ宝泉坊・宝泉坊ロッジ」、「ほわいとファーム」、「ししの里せいよ」「西条市本谷温泉館」の5施設の運営を開始し、クラフトビールを醸造販売する「今治街中麦酒」を開店しております。海外の出店については、MOTTAINAI WORLD(THAILAND) CO., LTD. にてハードオフ2店舗を出店しております。閉店につきましては、フードサービス事業の不採算店舗5店舗を閉店しております。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業96店舗、フードサービス事業29店舗、その他9店舗、合計134店舗となりました。

当連結会計年度の業績は、売上高8,453,979千円（前期比1.7%増）、営業利益200,969千円（同23.2%減）、経常利益330,910千円（同19.3%増）、店舗閉鎖費用、減損損失等、特別損失を75,155千円計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益146,436千円（同107.7%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

(リユース事業)

ハードオフ・ブックオフ事業の基本の再教育とハードオフ本部のECプラットフォーム「ネットモール」を活用したネット販売の拡大等を行ってまいりました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、従業員の安全を図るため一部店舗における一時休業や営業時間の短縮等を行った結果、売上高6,035,077千円（前期比2.0%増）、セグメント利益（営業利益）689,754千円（同3.7%増）となりました。

(フードサービス事業)

フランチャイジー事業においては本部主導の販売促進活動の理解と徹底、オリジナルブランド事業においては食の安心・安全とおいしさへの取り組みを深めながら新商品の投入や既存商品の改良等を行ってまいりました。新型コロナウイルスの影響に対応すべく、ドライブスルー営業が可能な業態への注力やテイクアウトメニューの拡大の取り組み、営業時間の短縮、定休日の設定を行ってまいりました。一部店舗で定休日の導入、営業時間の見直しを行い、人手不足解消および従業員満足度の向上にも取り組んでまいりました。

この結果、売上高2,216,603千円（前期比3.4%減）、セグメント利益（営業利益）30,063千円（同33.5%減）となりました。

(その他)

4月から西予市4施設の営業を開始し、その初期投資費用を計上したことと、西予市4施設及び鈍川せせらぎ交流館にて新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、地方自治体からの休業要請に従い4月下旬から5月末までの間営業休止を余儀なくされた事もあり、売上高202,298千円（前期比98.9%増）となりましたが、セグメント損失（営業損失）124,743千円（前期はセグメント損失（営業損失）7,034千円）となりました。なお、経常損益は、受取負担金100,000千円を含めた営業外損益を加味した結果経常損失19,145千円となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ587,172千円増加し2,484,846千円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加546,436千円によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ20,910千円増加し2,508,013千円となりました。この主な要因は、有形固定資産の増加82,667千円、投資その他の資産の減少54,744千円によるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ608,083千円増加し4,992,860千円となりました。

(負債)

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ6,567千円増加し1,010,889千円となりました。この主な要因は、買掛金の減少22,260千円、未払金の増加26,352千円によるものであります。

固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ526,821千円増加し2,049,653千円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加567,132千円によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ533,388千円増加し3,060,543千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度に比べ74,695千円増加し、1,932,316千円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加62,590千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当連結会計年度末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ546,436千円増加し1,143,321千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、395,486千円の収入（前連結会計年度は520,554千円の収入）となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益255,754千円、非資金項目である減価償却費193,406千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、267,533千円の支出（前連結会計年度は168,193千円の支出）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出227,228千円、長期前払費用の取得による支出23,672千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、420,405千円の収入（前連結会計年度は397,360千円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入1,050,000千円、長期借入金の返済による支出478,174千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大のため、实体经济への影響は依然として継続していることから、当社としましては、あらゆるリスクを想定しながらそれに対応すべく、必要に応じ財務的余裕を持つための資金調達を行う予定です。

以上を想定して、2022年2月期の連結業績予想につきましては、売上高8,778,000千円（前期比3.8%増）、営業利益217,000千円（同8.0%増）、経常利益358,000千円（同8.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益163,000千円（同11.3%増）を予想しております。

上記予想を踏まえ、1株当たり配当金につきましては年2円の増配とし、92円とさせていただきますこととします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	596,885	1,143,321
売掛金	113,342	134,606
商品	1,000,737	1,019,463
その他	188,190	189,179
貸倒引当金	△1,482	△1,725
流動資産合計	1,897,673	2,484,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	851,738	861,634
機械装置及び運搬具(純額)	11,197	22,176
工具、器具及び備品(純額)	49,503	67,844
土地	178,268	229,522
リース資産(純額)	70,023	71,793
建設仮勘定	14,438	4,866
有形固定資産合計	1,175,169	1,257,836
無形固定資産		
19,884		12,872
投資その他の資産		
投資有価証券	54,175	56,676
関係会社株式	35,885	15,999
長期貸付金	88,529	93,044
投資不動産(純額)	345,710	328,406
差入保証金	562,644	528,090
繰延税金資産	116,489	128,301
その他	94,403	97,413
貸倒引当金	△5,791	△10,628
投資その他の資産合計	1,292,049	1,237,304
固定資産合計	2,487,102	2,508,013
資産合計	4,384,776	4,992,860
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,734	94,474
1年内返済予定の長期借入金	377,476	382,170
リース債務	62,783	46,412
未払金	125,502	151,855
未払費用	109,328	111,116
未払法人税等	64,252	89,546
未払消費税等	102,942	81,794
その他	45,302	53,520
流動負債合計	1,004,322	1,010,889
固定負債		
長期借入金	841,410	1,408,542
リース債務	67,973	53,665
退職給付に係る負債	10,646	13,517
関係会社事業損失引当金	14,690	7,259
役員退職慰労引当金	93,833	95,791
資産除去債務	444,035	424,225
その他	50,245	46,652
固定負債合計	1,522,832	2,049,653
負債合計	2,527,155	3,060,543

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	1,314,208	1,376,799
自己株式	△79,471	△79,471
株主資本合計	1,845,752	1,908,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,212	16,198
為替換算調整勘定	△3,343	△8,383
その他の包括利益累計額合計	11,868	7,814
非支配株主持分	-	16,158
純資産合計	1,857,621	1,932,316
負債純資産合計	4,384,776	4,992,860

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	8,311,438	8,453,979
売上原価	2,891,821	3,108,931
売上総利益	5,419,617	5,345,048
販売費及び一般管理費	5,157,944	5,144,078
営業利益	261,672	200,969
営業外収益		
不動産賃貸料	71,175	62,250
受取負担金	-	100,000
その他	31,447	43,107
営業外収益合計	102,623	205,358
営業外費用		
支払利息	7,876	13,085
不動産賃貸原価	62,169	57,686
関係会社事業損失引当金繰入額	14,690	-
その他	2,143	4,645
営業外費用合計	86,879	75,417
経常利益	277,416	330,910
特別利益		
受取保険金	15,111	-
特別利益合計	15,111	-
特別損失		
固定資産売却損	36	-
固定資産除却損	6,929	3,768
減損損失	92,569	50,417
店舗閉鎖損失	1,760	8,269
関係会社株式評価損	18,300	12,700
特別損失合計	119,596	75,155
税金等調整前当期純利益	172,931	255,754
法人税、住民税及び事業税	111,423	111,281
法人税等調整額	△8,989	△12,312
法人税等合計	102,433	98,969
当期純利益	70,497	156,785
非支配株主に帰属する当期純利益	-	10,349
親会社株主に帰属する当期純利益	70,497	146,436

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益	70,497	156,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,824	986
為替換算調整勘定	△553	△5,235
その他の包括利益合計	△3,377	△4,249
包括利益	67,120	152,535
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	67,120	152,795
非支配株主に係る包括利益	-	△259

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	547,507	63,507	1,326,455	△79,268	1,858,201
当期変動額					
剰余金の配当			△82,744		△82,744
親会社株主に帰属する 当期純利益			70,497		70,497
自己株式の取得				△202	△202
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△12,246	△202	△12,449
当期末残高	547,507	63,507	1,314,208	△79,471	1,845,752

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計	
当期首残高	18,036	△2,790	15,245	1,873,447
当期変動額				
剰余金の配当				△82,744
親会社株主に帰属する 当期純利益				70,497
自己株式の取得				△202
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,824	△553	△3,377	△3,377
当期変動額合計	△2,824	△553	△3,377	△15,826
当期末残高	15,212	△3,343	11,868	1,857,621

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	547,507	63,507	1,314,208	△79,471	1,845,752
当期変動額					
剰余金の配当			△82,736		△82,736
親会社株主に帰属する 当期純利益			146,436		146,436
自己株式の取得					-
連結範囲の変動			△1,109		△1,109
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	62,590	-	62,590
当期末残高	547,507	63,507	1,376,799	△79,471	1,908,342

	その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	15,212	△3,343	11,868	-	1,857,621
当期変動額					
剰余金の配当					△82,736
親会社株主に帰属する 当期純利益					146,436
自己株式の取得					-
連結範囲の変動					△1,109
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	986	△5,040	△4,053	16,158	12,104
当期変動額合計	986	△5,040	△4,053	16,158	74,695
当期末残高	16,198	△8,383	7,814	16,158	1,932,316

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	172,931	255,754
減価償却費	211,104	193,406
のれん償却額	77,832	-
長期前払費用償却額	11,289	12,302
減損損失	92,569	50,417
店舗閉鎖損失	1,760	8,269
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11	5,079
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,947	2,865
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,625	1,958
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	14,690	△7,430
受取利息及び受取配当金	△1,799	△1,809
受取負担金	-	△100,000
受取保険金	△15,111	-
支払利息	7,876	13,085
関係会社株式評価損	18,300	12,700
有形固定資産売却損益(△は益)	36	-
有形固定資産除却損	6,929	3,768
売上債権の増減額(△は増加)	△9,498	△21,173
たな卸資産の増減額(△は増加)	△974	△17,817
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,429	△23,063
その他	45,662	12,896
小計	640,753	401,212
利息及び配当金の受取額	1,798	1,809
受取負担金の受取額	-	100,000
利息の支払額	△7,503	△13,135
災害による保険収入	44,856	-
店舗閉鎖損失の支払額	△1,260	△7,724
法人税等の支払額	△158,090	△86,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	520,554	395,486
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,200	-
定期預金の払戻による収入	10,802	-
有形固定資産の取得による支出	△111,403	△227,228
投資有価証券の取得による支出	△963	△1,013
資産除去債務の履行による支出	△8,713	△21,211
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	945	-
子会社株式の取得による支出	△54,186	△2,500
長期前払費用の取得による支出	△5,947	△23,672
差入保証金の差入による支出	△8,584	△21,927
差入保証金の回収による収入	13,894	52,571
その他	△2,837	△22,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168,193	△267,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	1,050,000
長期借入金の返済による支出	△393,888	△478,174
リース債務の返済による支出	△70,471	△68,718
自己株式の取得による支出	△202	-
配当金の支払額	△82,798	△82,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397,360	420,405
現金及び現金同等物に係る換算差額	△262	△1,921
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△45,263	546,436
現金及び現金同等物の期首残高	642,148	596,885
現金及び現金同等物の期末残高	596,885	1,143,321

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業活動は、取扱商品と運営形態を基礎とした事業セグメントから構成されており、フランチャイズシステムにより事業展開している「リユース事業」、フランチャイズシステム及び当社グループ独自の開発により事業展開している「フードサービス事業」、温浴宿泊施設、生産物販売等の運営及び当社グループ独自で製造小売事業を展開する「その他」の3事業であります。

(2) 各報告セグメントに属する製品およびサービスの種類

各報告セグメントの主な内容は下記のとおりであります。

報告セグメント	区分に属する主な業態等の名称
リユース事業	<p>「ハードオフ」パソコン・楽器・オーディオ・ソフト（ゲーム・CD・DVD）・玩具等のリユース</p> <p>「オフハウス」時計・宝飾品・ブランドバック・家具・衣類・スポーツ用品・家庭用電気製品等のリユース</p> <p>「ホビーオフ」ゲーム・フィギュア・カード・その他玩具全般のリユース</p> <p>「ブックオフ」書籍・ソフト（ゲーム・CD・DVD）等のリユース</p> <p>「MOTTAINAI WORLD ECO TOWN」総合リユース</p>
フードサービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・フランチャイズシステムによる展開 <ul style="list-style-type: none"> 「モスバーガー」（ファストフード） 「トマト&オニオン」（ファミリーレストラン） 「熱烈タンタン麺一番亭」（中華料理店） 「俺のフレンチ・イタリアン」（フレンチ・イタリアンレストラン） 「いきなりステーキ」「ペッパーランチ」（ステーキショップ） 「旭川味噌ラーメンばんから」（ラーメン専門店） ・独自の開発による事業展開 <ul style="list-style-type: none"> 「かつれつ亭」「馳走家とり壺」「伊予のとり姫」（和食） 「ティア自然食堂」（自然食レストラン） 「デリカ・スイーツ&ベーカリー」（惣菜・パン・洋菓子のインスタアショップ） 「ターミナル」（コーヒーショップ） 「ショコラトリー tsumugi」（チョコレート専門店）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・温浴宿泊施設等 <ul style="list-style-type: none"> 「今治市鈍川せせらぎ交流館」「ユートピア宇和(游の里温泉)」「クアテルメ宝泉坊・宝泉坊ロッジ」「西条市本谷温泉館」 ・生産物販売等 <ul style="list-style-type: none"> 「今治市玉川龍岡活性化センター」「ホワイトファーム」「ししの里せいよ」 ・独自の開発による製造小売事業の運営 <ul style="list-style-type: none"> 「ハム工房古都」（ハム・ソーセージの製造・販売） 「今治街中麦酒」（クラフトビールの醸造・販売）

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額
	リユース事業	フードサービ ス事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,914,133	2,295,601	101,704	8,311,438	—	8,311,438
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,914,133	2,295,601	101,704	8,311,438	—	8,311,438
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	665,186	45,215	△7,034	703,368	△441,695	261,672
セグメント資産	2,397,003	608,368	43,022	3,048,393	1,336,382	4,384,776
その他の項目						
減価償却費	135,225	39,947	580	175,754	10,775	186,530
減損損失	61,482	29,140	1,534	92,156	412	92,569
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	17,090	127,174	15,156	159,421	71,418	230,840

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、のれんの償却額77,832千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費363,863千円であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、本社関連資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、報告セグメントに帰属しない資産の減価償却費であります。
 - (4) 減損損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない資産の減損損失であります。
 - (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社関連資産であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 3 減価償却費には、のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含めております。

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額
	リユース事業	フードサービ ス事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,035,077	2,216,603	202,298	8,453,979	—	8,453,979
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,035,077	2,216,603	202,298	8,453,979	—	8,453,979
セグメント利益又はセグメント 損失（△）	689,754	30,063	△124,743	595,074	△394,104	200,969
セグメント資産	2,436,127	726,090	103,514	3,265,733	1,727,126	4,992,860
その他の項目						
減価償却費	107,325	55,178	4,656	167,161	14,308	181,469
減損損失	28,970	10,503	10,943	50,417	—	50,417
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	130,840	59,924	41,912	232,677	62,060	294,738

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費394,104千円であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、本社関連資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、報告セグメントに帰属しない資産の減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社関連資産であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 3 減価償却費には、無形固定資産に係る償却費を含めております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり純資産額	2,020円71銭	2,101円97銭
1株当たり当期純利益金額	76円68銭	159円29銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	1,857,621	1,932,316
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,857,621	1,932,316
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	919,290	919,290

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	70,497	146,436
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	70,497	146,436
普通株式の期中平均株式数(株)	919,330	919,290

(重要な後発事象)

該当する事項はありません。